

## 安全宣言

1. 私たちは、たとえ矢をセットしていなくても、決して弓を人に向けません。  
これが、アーチェリー最大のマナー常識です。
2. 私たちは、アーチェリーに真剣に取り組めます。
3. 私たちは、ルールを守ります。
4. 私たちは、アーチェリーを自己責任のスポーツであることを理解します。
5. 私たちは、事故撲滅のため、「安全マナー」「事故防止に向けて」などの基本を守って事故ゼロを宣言します。
6. 私たちは指導者/管理者の注意を守ります。
7. 指導者は、先ず安全教育から始めます。
8. 指導者は技術と共に、心豊かな人材育成を心がけます。
9. 私たちは、相手を誠実に思いやり、尊敬し真剣に競技して、良いアスリート・心豊かな人になることを宣言します。

平成 21 年 11 月 14 日

社団法人 全日本アーチェリー連盟

# 安全のための知識

## より楽しく射つために

アーチェリーの矢のスピードは、弓の強さにもよりますが、時速200～230km位になります。

その衝撃力は、厚さ5ミリの鉄板を射ち抜くほどです。

アーチェリーは紳士淑女のスポーツ。安全のためのマナーを守って楽しみましょう！

## 安全マナー

- どのような場合でも、人に向かって弓を引かない。
- 射つ人の前方、または前側に立たない。
- ターゲット付近に人がいないことを確認して、発射する。
- 他の人が射っている時には、決してターゲットに近づいてはならない。
- 空に向かって射たない。
- 自分の身体に合った強さの弓を引くこと。
- 自分のドロウレングスより、短い矢を引いてはならない。
- 矢がアローレストから落ちたら引き直す。
- 弓を引き戻す時は、的にサイトを合わせて戻す(弓を上に向けて、又は下に向けて引き戻さない。特にコンパウンドの場合)
- 他の人が射っている間は静かにする。
- 身体にピッタリ合った(だぶつかない)服装をする。
- スtringが、ボタンや衣服に引っかからないように準備する(チェストガード等を利用)
- プレーの前には、しっかりと弓具の点検をする。
- 矢を抜くときには、後ろに人がいないことを確認して行う。
- 許可なく、他の人の弓に触れたり引いたりしてはいけない。
- 矢を探すときは、後続のグループにわかるように、ターゲット前に弓を立てておく(フィールドの場合)。

## 事故防止に向けて

アーチェリーを楽しく安全にプレーするために絶対に守ってもらいたいマナー

- 安全が確保出来る環境以外では、絶対に弓を引かない。
- 必ず的に向かって、水平に引き分けて下さい。引き戻す際も、そのまま的に向かって戻して下さい（**3線ライン内に向かったの引き戻しは禁止します**）。
- 矢が的から逸れたら、その原因が分かるまで次の射は止めましょう。また紛失した矢を確認してから次の射を行うようにして下さい。
- 試合中に弓具故障が発生したら、まず審判員にアピールして下さい。故障した弓具・リリース等は試合中に調整せず、すぐに予備に交換して下さい。
- 飲酒はしないで下さい。(練習、調整中でも誤射の恐れがあります)
- 指導者・施設管理者等は、危険な行射、またはその恐れのあるアーチャーには、その場で注意、指導をして下さい。アーチャーは、第三者からの助言に素直に従いましょう。
- 安全確保の基本は、自分の体力でコントロールできる強さの弓具を使用することです。無理せず、無駄なくアーチェリーを楽しみましょう。

**安全確保はアーチャー全員が守るべき最大のマナー・義務です**

平成21年4月16日

社団法人 全日本アーチェリー連盟